



広報

# ごよがわら

発行所  
五所川原市役所  
413号

昭和52年12月15日  
印刷 西北印刷

市の人口 男 25,267人  
52,281人 女 27,014人

世帯数 14,160

(昭和52年11月1日現在) 住民基本台帳から



低くたれ込めた雲が雪を  
はらみ、あきらめたように  
裸木が枝をふるわせる。  
津軽の冬のきびしさは、  
雪が上から下へ降るものと  
思っている人たちにはわか  
らない。  
雪は空からではなく、真

横からはやてとなって吹き  
つける。だから人々は、雪  
はシベリヤからやってくる  
のだとも言う。  
はげしい風雪を少しでも  
防ぎ和らげるために囲いを  
する。西北地方では、これ  
を「カチヨ」と呼ぶ。

暮らしの伝統を伝えるか  
やぶきの家も、大半が文化  
住宅に変わった今では、この  
カチヨも珍らしくなった。  
生活の知恵の囲いも、湿  
地の開発によってアシガヤ  
が少なくなり板で囲うとこ  
ろが多くなった。

かやぶきの家も、アシガ  
ヤのカチヨも今や時代物の  
感が深くなった。  
しかし、人々はやがてく  
る冬將軍に負けてはいない。



# 親と子の話し合いで 楽しい冬休みを

## 父母のみなさんへ

市内の小中学校では、十二月二十四日から一月十六日まで冬休みとなります。

この期間中、巡回補導を行いますのでご協力下さい。

冬休みは、子供と一緒に時間が多くなり、子供を観察するよい機会です。親子の話し合いを中心に冬休みの生活を楽しみたいものです。

### ◆愛のメモディー

警察署の有線放送で、毎日次の時刻に愛のメモディーを流します。

◎午後四時…子供は、家に帰りましょう。

◎午後八時…お休みの時刻です。

### ◆雪に負けない生活

◎家の中にとじこもるだけでなく、積極的に外へ出て運動させるようにしましょう。

◎雪のかたづけなど、進んで手伝うようにさせましょう。

### ◆事故の防止

◎路上でのスキー、スケート、ソリ遊びなどは皆さんが注意し、やめさせましょう。川岸でのスキー遊び

も危険です。

◎道路や電線がある場所では凧をあげないようにしましょう。

### ◆非行の防止を

◎子供の持物に気をつけ



取り扱っている方、一般の家庭でもその管理には十分留意して下さい。

◎ボンド・シンナー遊び

をしているところを見た時は、すぐ警察署(☎二一四一番)か少年補導センター(☎五三三三番)、または学校へ連絡して下さい。◎児童・生徒が個人でシンナー・接着剤等を購入する場合は、購入証明書を購入する店に提示することになります。

### ◆たまり場に注意を

◎よその子供を泊めたり、自分の子供を泊めさせたりしないようにしましょう。

◎下宿、留守家庭などがたまり場になる例があるので、うわさを耳にした時は学校に連絡して下さい。

不審に思ったら問い正してみましよう。

◎商店の方は、商品の管理に十分留意して下さい。

### ◆シンナー・接着剤等の乱用防止

◎ボンド・シンナー類を

市学校警察連絡協議会  
市少年補導センター

## 新年 名刺交換会

◇とき 昭和53年1月1日午前11時から

◇ところ 市民文化会館

◇会費 1,000円。(申し込みと同時に納入して下さい。)

◇申込み締切り 12月20日(火)まで。  
市情報課、五所川原商工会議所へ。

### 水道の故障修理は

十二月二十八日から一月三日までは、元町浄水場(☎四二六三九番)で受け付けます。

### ゴミの収集は

十二月三十日まで平常どおり収集します。

### 年末年始、市の窓口

野里埋立地の燃えないゴミは、十二月三十一日まで引き受けします。一月四日から平常どおり収集いたします。



市本庁・各支所、市民文化会館、市中央公民館、三道会館、国連青少年の家、老人憩いの家は、十二月二十九日から一月三日まで休みます。ただし、本庁窓口サービス課、収納課、会計課は、十二月二十九日から三十一日の正午まで窓口業務を行います。また、勤労青年ホーム、市民体育館、市立図書館は、十二月二十八日から一月四日まで休館します。

西北中央病院は、十二月二十八日と三十日の午前中は平常どおり業務につきますが、二十九日と三十一日は休みます。



# 農業 選挙人名簿を作成

## 有資格者はもれなく申請を

市農業委員会では、農業委員の選挙人名簿を作成します。農家の皆さんは、「選挙人名簿登録申請書」を提出して下さい。

これは、法律に基づいて行われるもので、一月一日現在で作成されます。

選挙人名簿の登録申請用紙は、十二月二十五日頃行政連絡員(旧市内は農業組合長)を通じて各農家に配布し、一月十日まで取りま

とめのうえ提出していただきます。

### □選挙資格のある方

①市内に住所があり、十アール以上の農地を耕作している世帯で、年に六十日以上耕作に従事している方。

②昭和三十三年四月一日以前に生まれた満二十歳以上の方で、農家世帯と同居している親族。(六親等内の血族・配偶者、三親等内の姻族。)

③十アール以上耕作している農業生産法人の組合長または社員。(年に六〇日以上耕作に従事している方。)

### □記入の方法

①申請者の住所・氏名。(押印をして下さい。)

②耕作面積。③選挙権のある世帯員の氏名・続柄。(世帯主からみた続柄を記入して下さい。)

④生年月日。

なお、申請用紙が配布されなかったり、記載上不明な点がありましたら、市農業委員会(☎⑤二二二一内線三二三番)にご連絡下さい。

## 受勲おめでとう



勲五等瑞宝章の秋田修次さんら春、秋の叙勲を受けた五氏の受勲祝賀会が、十一月二十八日市民文化会館におよそ八十人の市民が出席して行われました。

祝賀会では、寺田市長が五氏の功績をたたえお祝いを述べたあと、村上市商工会議所会頭(代理)から記念品が贈られました。受章者を代表し、小田桐源太郎さんが、「思いがけない受勲に加え、お祝いまでいただいております」とお礼を述べました。

なお、今年の叙勲受章者は次のとおりです。  
▽勲五等瑞宝章 秋田修次氏、小田桐源太郎氏▽勲六等瑞宝章 岩田文雄氏▽勲七等青桐葉章 阿北勇造氏▽勲七等瑞宝章 平山幸作氏

## 交通事故のない 年末年始を

今年も残すところ少なくなりましたが、例年この時期には交通事故が多発し、とくに酒を飲んだうえでの事故が多くなっています。年末年始の交通事故を防止するため、

●無免許運転

●酒酔い運転

●暴走運転

●追越し違反

●歩行者保護義務違反

を追放し、交通事故のない明るい年末年始にするため

### 心臓病で

#### お悩みの方

みなさんの健康教室へ 医師会と家庭を結ぶ、「みんなの健康教室」を次の日程で開きます。

今回のテーマは、「心臓病について」です。心臓病でお悩みの方は気軽においで下さい。

◇とき 十二月二十七日(火)午後一時から  
◇ところ 市中央公民館一階ホール  
主催 北五医師会、市民保健協議会

## 市長、新年テレビ放送

◇RAB(青森放送) 一月三日(火)午前十一時三十分から十一時四十五分まで  
◇ATV(青森テレビ) 一月三日(火)午前十一時三十分から十一時四十五分まで

### 長尾さん

「ノート百冊寄贈 26年間の善意」

市内松野木の長尾政五郎さんはこのほど、市立松野

本小学校と野里小学校の新生にあげて下さいと、ノート百冊を市教育委員会に託しました。長尾さんの温い善意は、今年で二十六年目になります。



その22

寒さもだんだん厳しくなりましたが、冬の間は、降雪や積雪のため水道の使用水量の検針が困難になります。

しかし、水を多量に使っている営業用または団体用等の場合で、メーターの見やすい箇所はできる限り検針しますが、検針のできない町内・地区は十二月から使用した水量は認定でお知らせします。

### 冬の間、使用料は認定でお知らせ

これは、前三カ月の平均使用水量を計算し、これを一カ月の使用水量と認定して、料金に算出することです。この認定した月の使用水量の過不足分は、メーターを検針した月に精算されますのでご協力下さい。

(市水道課)



# 53年、奨学生を募集

## 市教育振興会

家計の都合で進学が難しい生徒のために、高等学校の入学科と授業料の相当額を給与し、また大学等の入学支度金(二〇万円限度)を貸与します。

応募の際は、応募者、先生や父兄とよく相談して下さい。

◇応募の資格  
人物、学業ともに優れかつ健康であり、学資の支払いが難しいと認められる方。

◇応募の手続き  
提出する書類は、①奨学生願書、②収入等に関する証明書です。また学校長の推薦調書も必要です。応募書類は、明年二月十五日まで提出して下さい。

◇採用の決定と通知  
採用候補者、補充候補者に決まった方へは、明年三月十日まで学校長を通じ本人へ通知します。

補充候補者は、採用候補者が資格を失った場合繰り上げ補充します。

### 新しい民生(児童)委員会決まる

任期満了に伴う民生(児童)委員の改選がこのほど行われ、十二月一日厚生大臣から辞令が交付されました。

よろしく願います。

なお、任期は、五十五年十一月三十日までの三年間です。

新しい民生(児童)委員は次のとおりです。

- |         |        |
|---------|--------|
| 担任地域    | 氏名     |
| 旭島町     | 外崎源次郎  |
| 数島町     | 岩川昭三   |
| 難田町・東雲町 | 成田茂    |
| 上平井町    | 嶋口慶治   |
| 中平井町    | 工藤金造   |
| 下平井町    | 小田桐澄男  |
| さつき町    | 斎藤征一   |
| 錦町      | 坂本 恵泰  |
| 柏原町・幾島町 | 新谷与惣治  |
| 新宮町・末広町 | 小山田鳳隆  |
| 小曲・沼田町  | 沢田 秀治  |
| 新宮(田中川) | 原 三五一  |
| 新宮(分譲)  | 岩谷 甚逸  |
| 新宮(市営)  | 鳴海清太郎  |
| 十川町     | 佐々木 司  |
| 川端町     | 佐々木 光也 |
| 大和町     | 岩見 啓助  |
| 平和町     | 今 マツ   |
| 布屋町     | 藤田 ゆき  |
| 鎌谷町     | 鶴谷 ヤナ  |
| 鳥森      | 寺田 清   |
| 松島町一丁目  | 横村 ヤヨ  |
| 松島町二丁目  | 木村 佳一  |
| 三丁目     | 神 勝美   |
| 四丁目     | 寺田 正栄  |
| 五丁目     | 野崎 川代田 |
| 六丁目     | 工藤 寿男  |

- |              |       |
|--------------|-------|
| 七、八丁目        | 小田桐澄男 |
| 新町           | 神 幸一  |
| 元町           | 木村祐太郎 |
| 柳町           | 金沢 定雄 |
| 本町           | 伊藤 正雄 |
| 寺町・岩木町       | 北岡 得次 |
| 湊地           | 石岡 寛  |
| 東町           | 小山 末治 |
| 田町           | 川村 篤代 |
| 栄町           | 菊地 初代 |
| 上町・寺町・下村     | 小野 勇治 |
| 下町・伝助・大正・新町  | 松野 ツル |
| 興隆・朝日・坂ノ上・南新 | 長峰 武雄 |
| 大日・長坂        | 岩田 勝正 |
| 北下・中下・南下・五本松 | 藤田 三郎 |
| 北新・中新        | 島谷 孝久 |
| 下岩崎          | 松本 喜一 |
| 米田・吹畑        | 工藤 東吉 |
| 尻無・太刀打・桃崎    | 島村 悦郎 |
| 馬性・漆川        | 大村喜一郎 |
| 野崎・川代田       | 工藤 寿男 |

- |           |        |
|-----------|--------|
| 悪戸・田中・宮田  | 渋谷 武則  |
| 水野尾・高柳    | 太田秀二郎  |
| 一野坪・中村・前池 | 境谷秀四郎  |
| 唐笠柳・末広    | 小野 作一  |
| 七岡・二本柳    | 寺田 まつ  |
| 七ツ館       | 葛西 敏一  |
| 姥 薮       | 木村 久   |
| 猫淵・三ツ谷    | 藤田 桂子  |
| 稲 実       | 工藤 繁雄  |
| 広 田       | 山田 忠雄  |
| 依 元       | 三上 幸作  |
| 羽野木沢      | 伊藤健四郎  |
| 高野 野      | 長内 ちよ  |
| 高野 野      | 楠美 せつ  |
| 前田野目      | 福士 時雄  |
| 梅 田       | 今 証太郎  |
| 中 泉       | 久保田美喜男 |
| 浅井        | 竹部七太郎  |
| 福 岡       | 佐々木善吉  |
| 井 田       | 工藤 為四郎 |
| 秋田        | 由一     |

- |        |       |
|--------|-------|
| 野 里    | 須藤美喜男 |
| 豊 成    | 土岐 菊己 |
| 神 山    | 成田 米作 |
| 松野木・若山 | 山内 清祐 |
| 福 山    | 須藤 善一 |
| 杉派立・神山 | 斎藤 一雄 |
| 戸沢・石田坂 | 野呂三之助 |
| 藻 川    | 一戸 周一 |
| 鶴ヶ岡    | 工藤 繁栄 |
| 高 瀬    | 小野 繁春 |
| 川 山    | 岡田 久市 |
| 沖 詰    | 富山 幸二 |
| 桜 田    | 藤森みつえ |
| 中 泊    | 笠井 文夫 |
| 種 井    | 館山藤三郎 |
| 毘沙門    | 館山 春悦 |
| 長 富    | 北川 鉄雄 |
| 桜井徳三郎  | 成田 省三 |
|        | 太田 善七 |
|        | 桜井徳三郎 |

会長に小田原ミツさん  
交通安全母の会

市交通安全母の会では、このほど総会を開き、次の新役員を選任しました。未加入の町内・会員の増員を働きかけていますのでご協力下さい。

◇会長 小田原ミツ(新町)  
◇副会長 鎌田京子(新宮団地)、工藤和子(同)、三橋由紀子(錦町) ◇事務局 長葛西テル(元町) ◇監事 竹鼻文子(本町)、鳴海百合子(大町) (敬称略)

### 大口募金、ご協力ありがとうございます

市では、十月一日から始まった共同募金運動で、大口募金の推進を図るため、大口募金開拓特別委員制度を設け運動を展開してきましたが、二十一の個人・法人からあわせて十七万五千円の協力がありました。

ご協力ありがとうございました。

なお、大口募金に協力された個人・法人は次のとおりです。

- 藤田章園、福士孝一、齋藤太郎、葛西敏、小山田鳳隆、成田正則、成田栄、工藤兼広、大西世鎬、飛島孝英、対馬竹松、小野長三郎、越谷喜明、森田キヨ、木下知、小山内孝、針生正己、小田ふよ、高橋佐左エ門、秋田ハル、井沢惣太郎 (敬称略)

### 税務署だより

わたしたちは、住宅の購入資金や病氣などによる不測の出費、また、老後の安定に備えて預金をしたり公社債を買ったりして貯蓄をします。預金や公社債の利子は利子所得として所得税がかかりますが、一定の手続きをとることによって非課税の扱いを受けることができます。

一般にマル優といわれているもので、預貯金や貸付信託、公社債投資信託などの利子や収益の分配金には、

### 貯蓄と税金

一人元金三百万円までを限度として税金がかからない「少額貯蓄の利子所得の非課税」制度があります。これとは別わくに国債や公募地方債の額面金額三百万円までの利子には税金がかからない制度があり、これは一般に特別マル優といわれています。

さらに、この二つの制度とは別わくで、サラリーマンの財産形成を目的として設けられている勤労者財産形成貯蓄については、元本五百万円までの利子には税がかかりません。

また、住宅を取得する目的で一定の要件にあてはまる貯蓄をしたときは「住宅貯蓄控除」が受けられます。(五所川原税務署)